

## 平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要

### 調査の概要

(1) 調査日 平成28年4月19日(火)

(2) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(3) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年

(4) 調査内容 ○教科に関する調査(国語、算数・数学)

- ・主として「知識」に関する問題…国語A、算数A・数学A
  - ・主として「活用」に関する問題…国語B、算数B・数学B
- 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

### 教科に関する調査から

#### 【小学校】

国語B、算数A・Bが県平均を上回り全国平均程度、国語Aは県及び全国平均を下回り、課題が見られる。

#### 【中学校】

国語、数学いずれも、県及び全国平均を下回り、課題が見られるがその差は縮まっている。

- ◇「知識」の定着については、
  - ・小学校…国語「漢字の読み」は定着、「ローマ字で書くこと」に課題  
算数「四則計算」は定着、「百分率を用いた割合」に課題
  - ・中学校…国語「漢字の読み」は定着、「修飾する語や字形や大きさ等正しく楷書で書く」に課題  
数学「正負の計算」は定着、「グラフから関係式に表す」に課題
- ◇「活用」に関しては、
  - ・小学校…国語「課題を決め、それに応じた必要な情報収集」に課題  
算数「式の中の数値や式の意味解釈、記述問題」に課題
  - ・中学校…国語「資料活用、表現工夫」は定着、「記述問題」に課題  
数学「題意の読み取りから、数量関係や関係式等の読み取り、説明」「記述問題」に課題

- ◇無解答率(解答欄を空白で出した割合。無解答率が低いほど、よく解答している)
  - ・小学校…国語A 3.6%、国語B 3.6%、算数A 1.0%、算数B 5.5%  
全ての教科で、県及び全国平均を下回る。
  - ・中学校…国語A 1.8%、国語B 4.9%、数学A 7.4%、数学B 18.0%  
国語Aは県及び全国平均を下回り、国語Bは県と同じ。数学は県及び全国平均を上回った。特に数学Bで4割を超える設問2題ある。

## 児童生徒の生活習慣等に関する質問紙調査から

児童（小学生）、生徒（中学生）とも、いじめを許さないなど自尊感情については良好であり、毎日楽しく学校に通えている。

しかし、家庭では、テレビゲームやメール、通話の時間が長いなど引き続き課題がある。また、家庭学習の時間も短く、本や新聞をあまり読んでいない現状が見られる。

自尊感情に関すること	小学校6年		中学校3年	
	岩出市	全国	岩出市	全国
自分には、よいところがあると思いますか	75.1	76.3	67.0	69.3
将来の夢や目標を持っていますか	81.8	85.3	73.0	71.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.9	96.6	95.5	93.6
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	92.3	93.8	93.8	92.8

- 小学生、中学生とも「自分にはよいところがある」と肯定的にとらえている子どもが、全国と比べて若干低い。しかし、他の項目の大部分は、全国平均を上回る状況である。

学校生活・家庭学習に関すること	小学校6年		中学校3年	
	岩出市	全国	岩出市	全国
学校に行くのは楽しいと思いますか	89.0	86.3	84.6	81.4
1日当たりの読書時間（30分以上）	34.1	36.5	18.1	28.2
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	60.1	62.2	40.8	48.4
家で、学校の授業の予習をしていますか	41.3	43.3	32.2	34.2
家で、学校の授業の復習をしていますか	58.6	55.2	34.4	51.0

- 学校に行くのが楽しいと思っている子どもが全国平均よりも高い。
- 読書時間については、習慣化されていない状況である。
- 家庭学習については、自分で計画を立てたり、授業の予習・復習をしたりすることが全国平均より低く、中学生がより差が広がっている。

家庭での様子に関すること	小学校6年		中学校3年	
	岩出市	全国	岩出市	全国
家の人と学校での出来事について話をしますか	77.3	79.2	74.9	74.1
1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか（2時間以上）	34.8	29.7	47.5	34.9
1日当たりどれくらいの時間、携帯電話等で通話やメールをしますか（2時間以上）	13.2	10.4	38.3	30.1

- 中学生は、家の人と学校での出来事について話をすることが全国平均を上回り、家族とのコミュニケーションはよくとられている。
- テレビゲームや携帯電話（スマートフォン）での通話やメールの時間が、小中学生とも大変長く、大きな課題である。  
※中学生については、昨年度より改善傾向にあるが、小学生の携帯電話等の使用時間については、高くなっている。